

離島地区 町政懇談会を 開催しました

8月27日・28日、両島の研修センターで町政懇談会を開催しました。27日、焼尻地区では20名、28日、天売地区では17名のみなさんが参加され、島の暮らしに関わるご意見、ご要望等を伺うことができました。みなさんとの意見交換の一部(要旨)をご紹介します。



お問い合わせ 地域振興課広報広聴係 ☎ 68-7013 (課直通)

はじめに町から、「複合化施設」についての説明を行い、その後意見交換を行いました。
◆印は参加者の発言内容、▼印は町長はじめ、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部抜粋して掲載しています。

焼尻地区

子育てについて

◆母くらぶや遊びの広場を開催して頂いて、感謝はしていますが、欲を言えばもっと回数を増やして欲しいです。それと子どもたちが増えてきているので、ブランコや滑り台などの遊具を自由に使える、気軽に遊びに行けるような施設が欲しいです。

▼子育て教室については、できるだけ増やせるものは増やしたいと考えており、担当課との相談や、天売との関係を精査しながらやっていきたいと思います。少しでもプラスアルファになるようにと考えています。

子育てについて

◆健診が始まる時間帯ですが、島から行く日帰りができない時間帯になります。

▼夏場に行ってもですか？

◆夏場に行ってもです。なぜその時間帯なのか聞いたら、町外から小児科の先生を呼ぶからという回答だったので、せっかく呼ぶなら1時間か2時間前倒しで呼んでもらえる

と日帰りで帰って来れます。宿泊もフェリー運賃も助成される体制で、そのこと自体は凄くありがたいのですが、子どもを抱えて、自家用車もない中でフェリーターミナルに直結している交通が無いところに行くのは結構大変です。例えば子連れで歩く時だけ連絡バスがあるとか、そうなれば凄く嬉しいです。それが無いとしても、健診に行ったその日に帰ることができれば宿泊等の負担は軽減されるので、2時間ぐらい前倒しして頂けると、離島からの接続を考えた場合は凄くありがたいです。

▼おっしゃられたとおり、健診時間はお医者さんの都合による部分が大きいいため、そのような返答になったと思われるのですが、そういった声があること、現状そうなっていることは伝

えます。来年度に向けて、お医者さんとの折衝の中で、その点を考慮して頂けるような形での話をしたいと思います。

ゴミ収集について

◆2週目と4週目の水曜日がプラゴミと雑紙の収集日と決まっているのですが、羽幌も同じですか？

▼市街地区の雑紙については、資源ゴミ、新聞紙と同じ日になっ

ています。
◆プラゴミが2週間に1回だとゴミステーションがいつも一杯です。

▼ゴミステーションに入りきれないですか？

◆入らなくはないのですが、例えば資源ゴミだとダンボールが入らないので外に置いたり、ペットボトルが満杯になったりもするので、プラゴミと雑紙の回収が週1回だったらいいなと思

いなながら生活していません。
▼持ち帰って、最善策を検討したいと思います。この業務は町の業務ですので、増やせるものは増やして、できなければ良い方法を考えたいと思います。

フェリーについて

◆港に小屋を建てよう思っ

てますが、一律にそういうことになってしまふわけですよね？夏に自家用車でもあれば、1便で行って最終便で帰ってくることも可能でしょうが、冬に留萌まで行って帰ってくるとなれば、何日もかかります。さらに、私の場合は目が悪いので2人で行かなければなりません。羽幌市街の人はいいでしょうけど、島民はわざわざ留萌まで行かなければならない。市街に携帯ショップがあった頃は、まだ良かったのですが、現状において特例扱いというか、書類をファックスで送るだとか、電話自体を郵便で送るなど軽微な手続きで済むような措置はないものでしょうか？

▼離島振興にしましては、北海道で協議会を設置しており、当町も会員となっております。利尻富士、利尻、礼文、奥尻と協議会の中で交流する機会がありますので、相談してみます。

医療について

◆お医者さんが居ないものですか、検査は地方で受けてくださいということなのですが、冬は本当に大変です。若い人も同じだとは思いますが、特に高齢者は年金生活なので死活問題です。欠航が続いて連泊

いるのですが、業者さんや重機を呼ぶ時に、町の仕事で来る業者さんのトラックとかち合っ

て、フェリーの予約が取りづらい状況です。これは天売・焼尻ともに同じ状況です。夏の便数が多い時期にそういう仕事をやるのは分かるのですが、個人でやるのと町でやるのでは規模が違いますし、せっかく手配したのに待ちちになってしまふことが度々あります。例えば町の仕事で来る業者さんを固めて、ピンポイントでフェリーを増便するだとか、なにか混雑を避けるための対策をお願いできないでしょうか？臨時便を1便出すだけでも全然違うと思います。

▼増便については、通常のダイヤ以外となりますと、事業者、国、道など色々な関係先があって、そこで協議・了承を得なければ出せません。

◆町の公共事業工場の過程で、1日だけ「他の人どうぞ」という日を作るとか、そういうことも検討してもらえないでしょうか？なんせ個人が建物を建てるとなると、本当に大変なのです。ただでさえ欠航も絡んできますし、天候次第なのです。我々の場合費用は自己負担ですから、何日も前からお願いし

となる大変なことなので、そういう場合の補助のようなものを考えてもらえないでしょうか？
▼救急対応の負担軽減対策として、以前この場で発言のあったフェリー代や宿泊費の補助については予算措置されています。支所なりに言っただければ対応いたします。一般の負担軽減は今のところありませんが、検討させていただきたいと思います。

医療について

◆昨年、検査の際に泊まる場所がないということで発言したのですが、検討結果を見ると早めに連絡すれば病院に前泊可能とのことでした。検査当日の後泊も可能かどうかも考えていただきたいのですが。
▼道立病院に確認してお返事したいと思います。

ていたものの2〜3日欠航が続いたり、そうになってしまうとその期間の保証までしなればならなかったり、実際かなり厳しいです。

▼昔は解(はしけ)が3隻ありました。荷物の運搬が徐々にフェリーへと移行し、今は無くなりましたが、忙しくなるとフェリーだけでは足りないという

ことですね。
◆今後、複合施設の工事が始まると更にこういった状況が懸念されます。なんとか今日言ったことを念頭に置いてスケジュールを組んでいただくなどの対策をお願いします。
▼それは本当にこれからのことですので、参考にします。

天売地区

防風柵について

◆風の強い日が昔から見ると相当多くなってきています。風速10メートル15メートルじゃなく、20メートル30メートルの風が吹くんですよ。ゴメ岬側から来る北西の風が港に直接入るので、その辺りに以前から防風柵を要望しているんですよね。よろしくお願

いします。
▼北海道港湾協会の中央要望で、強風の後は波が北から入っ

てくるという話をよく耳にします。当町には離島があり、爆弾低気圧が来ると大変困難な状況になるということを、今までも話してきましたが、機会があれば改めて発言させていた

携帯ポンベの収集について

◆現状では穴をあけて出すのですが、札幌などでは穴を開けないで収集しています。天売島ではどうでしょうか？

▼札幌では昨年、廃棄目的でスプレーを多量噴射したことに

よる爆発事故が発生したので、個人で抜かないようにという指導に変わってきているかもしれないですが、当町では今のところ変更ありません。

いつ変わりますか？スプレーだと噴射口が壊れて抜けないものもあります。そういうものは穴を開けても大変ですし、噴射できません。

◆あのような事故もあったので、担当課でも一度検討させてください。収集に手間取ると思うんですよ。当町でも私が把握しているだけで2〜3回収集車から火が出たことがあります。炎が出たわけではなく、煙が出て中で燃えたようです。原因として考えられ

るのは、家庭用コンロに電池が入ったままだったため、収集車内で押し込める際に点火のままが押ささつてしまい、混在している他のごみに着火したのではないかとのことです。電池を抜いてさえいれば火は出ませんでした。このようなことを未然に防ぐため、必ず穴を開けて出す、穴の開けてないものは収集しない、という指導

に変わってきたことはご理解願います。しかしながら、火器に対して不慣れな中、各自ご家庭で穴を開けて出すというのは大変だと思います。冬に室内で作業して火がついたりしても危険ですし、繰り返しになります。担当課で検討させていただきます。

携帯電話について

◆先日水没させてしまったのですが、買い換えには本人が留萌まで行かなければなりません。言ってみれば商品を買うだけなのに、個人情報が悪用される危険があるからこういうった取扱いになっているのですか？

▼そういうことではないかと思

います。
◆我々にしてみたら島の人間が悪用するはずないと思うの